

予算の執行状況

平成十三年度予算の執行見込みをお知らせします。
決算確定の内容は、市議会の認定を受けた後、
 十二月にお知らせする予定です。

一般・特別会計

平成十三年度一般会計の最終予算額は前年度比一・一%増の八千九百六十三億円

平成十三年度の一般会計当初予算は、八千四百九十七億円でしたが、構造改革の一層の推進を目指す国の「改革先行プログラム」緊急対応プログラム」などに呼応した総額百十六億円の地域経済対策（特別・企業会計を含む）や、生活保護費増加への対応などのため、計七回、総額四百六十六億円の補正を行い、最終予算額は八千九百六十三億円となりました。

平成十三年度は、第四次長期総合計画と、それを具体化する第一次五年計画の二年次目として、経済の活性化や少

子高齢化、環境問題に対応する施策を最優先課題と位置付け、積極的に取り組みました。昨年六月には、札幌ドームがオープン。経済の活性化については、このような本市ならではの財産や自然環境などからではの財産や自然環境などの魅力を生かし、集客交流産業の振興に取り組みとともに、情報・福祉・環境といった新札幌型産業の育成・振興に努めました。

安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを進めるため、乳幼児医療費の助成対象を拡大したほか、一時保育

・延長保育の拡充などに取り組みました。高齢者福祉の面では、「福祉除雪」の試行対象地区を市内全域に拡大したほか、高齢者生活福祉センターなどの施設を充実させました。環境問題については、ごみ減量化・資源化の行動指針として、「さっぽろごみダイエツトメニュー」を策定するとともに、「ISO14001」

このページのお問い合わせは
 財政課 ☎211 2212へ

一般会計における主な歳入・歳出の決算見込み
 （単位：百万円）

区分	科目	予算現額	決算見込額	科目の解説・算入される財源や経費の具体例
主な歳入	市税	267,500	268,869	市民税、固定資産税、都市計画税など
	諸収入	150,892	139,832	預金利子、貸付金元利収入、受託事業収入など
	地方交付税	134,618	134,881	各地方公共団体の財政力の不足に応じた国からの交付金
	国庫支出金	116,404	111,117	国から地方公共団体に対して支出される負担金・補助金・委託金
	市債	105,882	85,474	市の借入金 決算見込額には、NTT無利子貸付け補助金型 ¥30百万円を含む
主な歳出	保健福祉費	179,425	176,415	福祉、保健、医療などの分野の経費
	諸支出金	133,633	127,976	財産取得のための経費、他会計への繰出金
	土木費	147,725	127,795	道路や公園の整備など、都市の基幹的な社会資本の整備のための経費
	職員費	118,059	117,633	職員の給与や諸手当のための経費
	経費	99,293	89,802	地域経済や観光、農業の振興などのための経費
	公債費	89,181	89,065	市債の償還のための経費など

（環境マネジメントシステム）の認証を昨年十一月に取得し、これを活用した事務事業の改善・効率化を図りました。

厳しい経済状況の中、「行財政改革推進計画」を着実に推進

歳出については、「行財政改革推進計画」に基づき、引き続き事務事業全般にわたる見直しや効率化に努めたほか、

民間企業の厳しい経営状況を踏まえ、職員の期末手当を削減。職員給与費について三億円の減額補正（全会計合計）を実施しました。

一方、歳入面では、景気の低迷などにより、市税について五十七億円の減額補正を行いました。しかし、地方交付税の確保に努め、八十七億円の増額を見込むことができたことなどから、予算で予定し